

SD/microSD メモリカードー世界で最も支持されているメモリカードー 技術革新に満ちた 20 年を迎え

2000 年 1 月に業界の牽引役として SD アソシエーションが発足

カリフォルニア州サン・ラモン発ー2020 年 1 月 21 日ーSD アソシエーションは今年で設立から 20 周年を迎えます。20 年前、メモリカードに革新をもたらし、世界の一般ユーザと企業の利便性を高めるという使命のもとに SD アソシエーションは誕生しました。その後の 20 年間で SD メモリカードは進化を遂げ、機能を拡張し、最も幅広い支持を受けるメモリカードとなりました。今日、SD メモリカードと microSD メモリカードは、20 年前には想像できなかった広範囲のデバイスと用途で使用されています。

SD メモリカードは持ち運び易く、性能向上が容易で、相互運用に優れているため、個人や法人のお客様に選択肢を提供し、様々な家電製品の利便性と価値を高めるとともに、より長期間の使用を可能にします。SD メモリカードは、より大容量のデータ保管が必要とされるモバイル時代において、数十億もの製品でストレージデバイスの代名詞と呼べる存在になりました。[IDC](#)によれば、2023 年以降は、企業、機械、産業、民生、科学研究などから毎年 103ZB のデータが生成されると予想されています。スマートフォン、タブレット、ノートパソコン、ドローン、監視カメラ、自動車など様々な情報源から生み出されるデータを SD メモリカードで保存することで、個人および法人のお客様は、音楽、映画、テレビ番組、ゲーム、写真などを安全に保管しながら、いつでもこれらにアクセスすることができます。



YEARS OF INNOVATION

2000-2020



20 年前の**メモリカード市場**は、規格が異なる 5~6 社による独自カードが主流で、相互互換性に欠け、異なるデバイス間での相互運用性もありませんでした。そのような状況のなか、SD 規格は家電機器に対する需要の高まりに対応し、デバイスメーカー間のコラボレーションと成長を促進する堅牢なエコシステムの継続的発展のための技術標準となることを目的として設立されました。SD アソシエーションは、松下電器(現パナソニック)、サンディスク(現在はウェスタンデジタル子会社)、東芝(メモリ部門が独立し現在はキオクシア)の 3 社により設立されました。

「SD アソシエーションが設立された 20 年前、小さな SD メモリカードに 21 世紀のデジタルデータストレージにおいて重大な役割を果たすポテンシャルがあることを見抜いたこの 3 社には先見の明があったと思います。そしてこの設立の決断が、やがて事実上の次世代デジタルメディア標準を作り上げることになりました」と SD アソシエーションのヨシ・ピント取締役会長は語ります。「SD 規格は、メモリカードの標準化を通じてユーザに恩恵をもたらしただけでなく、さらに進化を続け、業界からの要望に応えるべく機能を拡張してきました。その結果、SD

アソシエーションは現在、リムーバブルのストレージメディアにおいて最も認知度が高く信頼されるブランドとなりました。」

設立からの 20 年間で SD アソシエーションが成し遂げた技術革新の流れを以下にまとめました([インフォグラフィックをご覧ください](#)):

- 15 の主要な物理および形状規格に加え、数多くの追記規格、テストガイドラインやアプリケーション規格を策定
- 一般ユーザと企業の両方から最も幅広く支持されている小型フォームファクタの microSD 規格を策定
- SDHC、SDXC、SDUC 規格で最大 128TB の大容量メモ리카ードを実現
- 新規格の SD Express では 985MB/秒という 12MB/秒の 100 倍に迫るスピードを達成
- 差し込むだけで使える利便性の高い下位互換性サポートを維持
- SD 規格の策定と利用に向け、累計 1,700 社を超える会員企業が参加

20 年前に初めて販売された SD メモ리카ード製品容量はわずか 8MB でした。メモリ技術の飛躍的な進歩により、SDXC カードや microSDXC カードでは既に 1TB のメモリ容量を実現しています。これは最初の SD メモ리카ードの約 125,000 倍に相当します。

「SD 技術の創造により、SD アソシエーションは企業および一般ユーザ向け製品の標準化に貢献し、企業活動が継続的に成長する堅牢なエコシステムの基盤作りに寄与したと考えています」と SD アソシエーションの坂本広幸代表社長は述べています。「SD Express、microSD Express、SDUC という新規格で、SD アソシエーションは更に広く指針となるロードマップを展開しています。」

SD アソシエーションは、一般ユーザ向けおよび業務用アプリケーションのメモ리카ード標準化において卓越した専門知識を誇ります。また、優れた技術規格仕様開発プロセスを備えており、相互運用性と仕様適合性に関する新製品のテストでは厳しいコンプライアンス活動に裏付けされたテストガイドラインを装備しています。さらに、グローバルマーケティング・広報チームは、SD 規格対応製品へのロゴマーク使用に関する標準化と管理を行い、ユーザーの知識を高め、SD 規格の採用、普及、使用を促進する活動に励んでいます。

SD アソシエーション

SD アソシエーションは、相互運用性がある SD 規格の策定に取り組む約 850 社のテクノロジー企業が連携協調する世界的エコシステムです。SD アソシエーションは、市場をリードする SD 技術を利用した家電、ワイヤレス通信、デジタル画像およびネットワーキング製品の開発を促進しています。SD 規格はユーザに最も支持されており、信頼性の高い相互運用性と使いやすいフォーマットにより、メモ리카ード市場の 90%以上を占めています。現在、SD 規格の相互運用性はスマートフォン、タブレット、ドローン、IoT デバイス、HDTV、オーディオプレーヤー、自動車、コンピューター、デジタルカメラ、およびデジタルビデオカメラで利用されていま

す。SD アソシエーションまたは SD アソシエーションへの加盟方法に関する詳細につきましては、SD アソシエーションのウェブサイト(<https://www.sdcard.org>)をご覧ください。

SD ロゴは SD-3C LLC の登録商標です。

###

報道関係者の方のお問い合わせ先

Kevin Schader
SD アソシエーション
+1 (925) 275-6670
media@sdcard.org